

## 総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市動物愛護館		
課名	動物指導センター		
指定管理者名	(一社)静岡県動物保護協会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和3年6月1日(火)		
評価委員 ※( )内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 殿岡 和明 (動物指導センター所長) ②委員 島村 好彦 (保健所食品衛生課 副主幹) ③ 〃 鈴木 正樹 (中山間地振興課 主任獣医師) ④ 〃 小森 禅 (静岡市獣医師会 副会長) ⑤ 〃 望月 由紀子 (静岡県動物愛護推進員)		
評価点 (各委員平均点)	90.6点	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として良好と言える。満足することなく見直しや工夫を続けていく必要がある。</li> <li>・コロナ禍の中、感染予防対策を図り、工夫しながらイベント等の対応をしている。</li> <li>・コロナが収束しない中、動画配信やオンラインによる講座の実施等を検討する必要がある。</li> <li>・今後、電話による相談業務も利用者数として反映させていくことが必要。</li> </ul>		

## 総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡県動物愛護館]

課名 [動物指導センター]

指定管理者名 [(一財)静岡県動物保護協会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 履行状況について	28	30	25	30	25	27.6
(イ) 施設の管理等について	4	5	5	5	5	4.8
(ウ) 職員の能力・適正について	5	5	5	4	5	4.8
(エ) 事故等防止対策・発生時の対応について	5	5	5	5	5	5
(オ) 環境への配慮について	5	5	5	5	5	5
小 計	47	50	45	49	45	47.2
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 年間行事について	8	10	10	10	10	9.6
(イ) 課題への対応	4	3	5	4	4	4
小 計	12	13	15	14	14	13.6
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者満足度	8	10	5	8	8	7.8
(イ) 利用者の意見に対する対応について	4	5	5	4	4	4.4
小 計	12	15	10	12	12	12.2
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 飼育動物について	18	20	10	20	20	17.6
小 計	18	20	10	20	20	17.6
合 計	89	98	80	95	91	90.6

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・職員の方は、勤務年数も長く安心できる。
- ・猫の譲渡会への参加者が多いとのことなので、このようなイベント参加者を通して、愛護館を広く市民にPRしてほしい。
- ・市民(利用者)アンケートの数が少ないので、本当の満足度がどの程度なのか判断しづらい。

【B評価委員】

- ・利用者からの意見・要望に対しては、動物指導センターとの連携を強化して満足度アップにつなげてほしい。

【C評価委員】

- ・施設が老朽化して維持管理が大変だと思うが、それにもかかわらず職員は創意工夫して運営している。

【D評価委員】

- ・概ね良好に履行されている。
- ・1(ウ)職員の能力・適正は、更なる飛躍を期待する。
- ・良好な創意工夫がなされている。
- ・引き続き、社会課題に適切に対応して欲しい。
- ・情報の発信方法やアンケートの対象を工夫すれば、さらに満足度が向上するのではないか。積極的な対応が望まれる。
- ・業者による定期的な施設の清掃も行われており、良好な管理ができています。

【E評価委員】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による来館者数減はやむを得ない。
- ・1(ア)～(オ)については適正である。
- ・しつけ方教室・飼育相談の件数は増加傾向で期待以上である。
- ・イベント参加者からの意見・要望を積極的に取入れアンケート満足度も高い。
- ・毎日の清掃に加え、新型コロナウイルス感染症対策に努めている。

評価委員会としての意見

- ・全体として良好と言える。満足することなく見直しや工夫を続けて欲しい。
- ・コロナ禍の中、感染予防対策を図り、工夫しながらイベント等の対応をしている。
- ・コロナが収束しない中、動画配信やオンラインによる講座の実施等を検討してほしい。
- ・電話相談が増えているため、利用者数として反映するべき。